

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	2-a	ご利用者の生活歴や情報などはフェースシートにまとめているが、馴染みの暮らし方やこだわり、大切にしたいことなどの想いを把握して個別支援に活かしたい。	それぞれのご利用者の想いや悩みを把握し、介護計画に盛り込むことで生活の質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・想いを把握できるシートを作成し、介護計画更新時にご本人、ご家族から情報を聴き取るようにする。 ・日々の暮らしの中で聴き取った情報も色を変えて記入する。 ・聴き取りした内容を介護計画作成時に盛り込む。 ・毎月の実施評価に取り組んだ内容を記入し、ご家族にも送付する。 	6 か月	
2	5-b	介護計画を実施した記録が月毎にはあるが、日々の様子の記入が少ない。	タブレットへの記入量を増やし、情報を共有することで日々の支援に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各ご利用者の介護計画の内容を把握しやすいよう、ケア内容の一覧を作成する。 ・毎日ケア内容の一覧をみて、各ご利用者の介護計画を実施し、口頭で情報を共有したり、メモに残しておくようにする。 ・毎日ご利用者のケア内容を実施した様子について夕方にタブレットへ入力する。 ・毎月実施評価を行う際は、記録の確認を行い、記録が少ない利用者については、ユニット会などで記入について依頼、相談を行う。 	6 か月	
3	13-a	ご利用者が戸外に出かける機会が少なく、楽しみや気分転換を図れる機会が少ない。	日常的な外出支援の体制をつくり、楽しみある生活が送れるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・季節毎に菜園に野菜や花を植え、水やりやお世話、収穫の楽しみが持てるように環境整備を行う。 ・午後にドライブの時間をつくり、希望する方には戸外に出かける時間を持てるようにする。 ・地域行事や認知症カフェなどのイベントにも希望者は参加出来るように企画する。 ・新型コロナウイルスの感染状況を確認し、状況に応じて、ドライブだけやホームの周辺の外出にするなど感染対策にも注意する。 	6 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()